

THE NORTH FACE CUP 2019

予選会ルール

1. 各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題（コース）をトライしていき、完登した課題数で順位を出します。好きなエリアに並んでトライします。*セッション時間、競技エリア数は会場により異なります。
2. 課題のスタート付近にはカテゴリーと番号が付いていて、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。
3. スタートの条件は課題テープで囲われた&棒テープが張ってあるホールドに、棒テープに合わせて手足（手は手首より先、足は足首より先）の4点を置いた状態でスタート。その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。条件付き課題についてのご質問は担当エリアのジャッジにお尋ね下さい。
4. 完登はTOPの表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。
*必ずジャッジに完登のOKを確認してからお戻りください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。
ゾーンポイント（課題の中間ポイント*Zと表記）はゾーンがついているホールドを保持した時のみ有効です。（タッチや振られ落ちの場合認められません。）ゾーンポイントにはZ①とZ②があり、Z①を使わずにZ②を保持した場合は、Z①も保持したことになります。完登した場合は、Z①とZ②を保持したことになります。
5. 選手には選手番号がふられており、選手番号のついたゼッケンを大会当日受付にて渡されます。競技中は必ずトライする課題を伝え、選手番号のゼッケンをジャッジに見せてからトライを開始して下さい。課題の結果記入は各エリアのジャッジが行います。トライ後は必ずジャッジ結果を確認し、ジャッジに誤りがないかを確認してください。
6. 競技終了後、5分間のみジャッジ抗議の時間を受付けます。
それ以降の抗議は無効となります。
7. 順位は完登数の多い順で決まります。完登数が同じ場合はZ②の数で順位をつけます。さらに同着の場合は、Z①の数で順位をつけます。

8. 時間内の最終トライは認めます。
9. エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスマリングすることはOKですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。また、壁の形状（カンテ、凹角）を使うことはOKですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップも指定された（テープの張られた部分）場所以外使用できません。壁に備え付けられたハリボテ（形・素材は様々）は、コースのテープが張ってある場合、使用可能です。テープが張られていない場合は、手足がふれることを禁止致します。デマケーションテープが張ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。*コースとデマケーションテープの色は会場によって異なる場合がございます。大会当日ご確認下さい。
10. トライしている課題以外のホールドを使ってはいけません。間違って使用してしまったり触れてしまった場合、使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。戻れなかった場合は、そのトライを中断してください。その時点での高度まで有効となります。
11. 競技前や競技中は、課題のスタートホールド以外は触ってはいけません。
12. クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングできます。
13. 本戦出場獲得者人数は当日出場（受付した）した選手数で計算されます。詳しくは大会詳細より出場権獲得者数をご確認下さい。
14. 壁のボルト穴を使用することは禁止といたします。
15. 競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、1回につき全体の競技時間を最大5分延長とさせていただきます。ホールド破損時にその課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせていただきます。
16. ホールドが破損した場合、代替りのホールドを用意いたします。チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドをご用意いたします。